

感染症学

責任者・コーディネーター	感染症学・免疫学分野 村木 靖 教授		
担当講座・学科(分野)	感染症学・免疫学分野、衛生学公衆衛生学講座、機能病態学分野、睡眠医療学科、消化器内科消化管分野、病理診断学講座、呼・アレ・膠原病内科分野、小児科学講座		
担当教員	村木 靖 教授、坂田 清美 教授、佐藤 孝 教授、櫻井 滋 教授、中村 昌太郎 准教授、刑部 光正 講師、秋山 真親 助教、外館 玄一朗 助教		
対象学年	4	区分・時間数	講義 13.5 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

感染症学を学ぶ目的は、1～2年次で学んだ微生物学や感染免疫学の知識を、臨床医学の面から再構築することである。感染症はほとんどの診療科目に関係がある。したがって基礎医学の立場からだけでなく、臨床医学の視点で学習し直すことがより重要である。基礎医学で学んだ知識の復習をし、さらに各々の講義と演習を通じ、役に立つ感染症の知識を身に着けることを期待する。

・教育成果（アウトカム）

この講義を受講することで、それまでに各教科で学んできた感染症に関連する知識が整理され、試験で問われる感染症の重要ポイントの確認ができる。さらに CBT 試験の出題傾向にも慣れ、最終的に CBT 合格に到達する。
(ディプロマ・ポリシー：2)

・到達目標（SBO）

個々の行動目標は授業担当者毎に授業の開始時に提示される。
以下、基礎病態・社会医学演習として行動目標の概要を示す。

- 1) 演習問題の作問意図を指摘できる。
- 2) 演習問題の関連知識を説明できる。
- 3) 正解を導くに至った基礎知識と思考過程を説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
6/15	木	1	衛生学公衆衛生学講座	坂田 清美 教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（公衆衛生）の演習とその解説講義
6/19	月	3	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（細菌学の基礎）の演習とその解説講義
6/19	月	4	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（ウイルス学の基礎）の演習とその解説講義
6/20	火	1	小児科学講座	外館 玄一朗 助教	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（小児科）の演習とその解説講義 1
6/20	火	2	小児科学講座	外館 玄一朗 助教	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（小児科）の演習とその解説講義 2
6/21	水	1	消化器内科消化管分野	中村 昌太郎 准教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（消化管、肝）の演習とその解説講義
6/21	水	2	呼・アル・膠原病内科分野	秋山 真親 助教	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（呼吸器）の演習とその解説講義
6/26	月	2	睡眠医療学科	櫻井 滋 教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（感染対策）の演習とその解説講義
6/27	火	1	機能病態学分野	佐藤 孝 教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（寄生虫）の演習とその解説講義
6/27	火	2	病理診断学講座	刑部 光正 講師	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（病理）の演習とその解説講義

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません				

・成績評価方法

進級試験の成績をもって評価する。

・特記事項・その他

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	デスクトップパソコン Elite Desk 一式	1	講義・試験の資料作成